

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月5日

上場会社名 西部瓦斯株式会社

上場取引所 東大福

コード番号 9536 URL <http://www.saibugas.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 優次

問合せ先責任者 (役職名) 経理部主計グループマネジャー (氏名) 野崎 恵造

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日

TEL 092-633-2245

平成21年12月1日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	69,806	△8.6	4,417	—	4,125	—	2,385	—
21年3月期第2四半期	76,375	—	△739	—	△1,205	—	△2,066	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	6.42	—
21年3月期第2四半期	△5.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	252,568	59,172	22.5	153.08
21年3月期	253,247	56,736	21.7	147.73

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 56,846百万円 21年3月期 54,862百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
22年3月期	—	3.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	156,000	△7.1	8,600	19.2	7,800	30.9	3,700	54.3	9.96

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 有

(注)詳細は5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	371,875,676株	21年3月期	371,875,676株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	520,256株	21年3月期	515,181株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	371,357,223株	21年3月期第2四半期	371,351,278株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年8月5日に公表いたしました通期の連結業績予想は、本資料において修正しております。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

平成22年3月期の個別業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	115,000	△8.0	6,000	17.3	5,500	26.1	2,500	2.4	6.73

(注)個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、原料費調整制度によるガス料金単価の下方調整と景気低迷の影響による業務用ガス販売量減少等によりガス売上高が減少し、連結子会社においても景気低迷の影響によりLPG売上、器具売上及び不動産関連売上が減少したこと等によって、前年同期に比べ6,569百万円減の69,806百万円となりました。

一方、費用面につきましては、売上高の減少に伴う売上原価の減少に加え、原油価格の下落等により都市ガス原材料費が減少したことによって、売上原価が大幅に減少しました。

この結果、営業損益は4,417百万円の利益（前年同期は営業損失739百万円）、経常損益は4,125百万円の利益（前年同期は経常損失1,205百万円）、四半期純損益は2,385百万円の利益（前年同期は四半期純損失2,066百万円）となりました。

なお、当社の連結業績は、ガス事業のウエイトが高いため、売上が冬期を中心とした期間に多く計上されるという季節変動要因を抱えております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、連結子会社である久留米ガスが久留米市からガス事業を承継したことに伴う有形固定資産の増加と、株価の上昇による投資有価証券の増加があったものの、季節的な要因によるガス売掛金の減少等によって、前期末に比べ679百万円減少し、252,568百万円となりました。

純資産は、四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加と、株価の上昇によりその他有価証券評価差額金が増加したこと等によって、前期末に比べ2,436百万円増加し、59,172百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績及び原油価格の動向等を踏まえ、連結並びに個別業績予想を修正いたしました。

連結売上高につきましては、景気低迷の影響等によりガス売上、器具売上等が減少し、前回発表予想（平成21年8月5日）より35億円減の1,560億円となる見通しです。

利益は、今後の原油価格及び為替レートの動向に影響されますが、業績予想の前提となる原油価格を75ドル/バレルに見直しております。これによる原材料費の増加等によって、連結業績予想の営業利益が前回発表予想より9億円減の86億円、経常利益が5億円減の78億円、当期純利益が1億円減の37億円となる見通しです。

個別業績予想につきましては、ガス販売量が前回見通しを下回ること等から、売上高は前回見通しに比べ14億円減の1,150億円となる見通しです。また、通期において営業経費が前回見通しを下回るものの、今後の原油価格の想定を見直した結果、原材料費が増加すること等により、営業利益は4億円減の60億円、経常利益は3億円減の55億円、当期純利益は1億円減の25億円となる見通しです。

(注) 今回予想の前提（10月以降）：原油価格（全日本CIF価格）75ドル/バレル 為替 95円/ドル
前回予想の前提：原油価格（全日本CIF価格）60ドル/バレル 為替 95円/ドル

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当する事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

たな卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

固定資産の減価償却費の算定方法

一部の子会社において、固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタ

ックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算方法

当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用していましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第2四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

この変更による損益への影響はありません。

②時価のあるその他有価証券の評価基準及び評価方法の変更

その他有価証券のうち時価のあるものについては、期末日の市場価格等に基づく時価法によっておりましたが、その他有価証券の保有目的に鑑み、市場における短期的価格変動による直接的影響を排除し、財政状態をより適切に表すため、第1四半期連結会計期間から、期末日前1ヶ月の市場価格等の平均に基づく時価法に変更しております。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、投資有価証券は449百万円、繰延税金負債（固定負債）は162百万円、その他有価証券評価差額金は286百万円それぞれ増加しております。

なお、損益への影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
固定資産		
有形固定資産		
製造設備	33,871	34,893
供給設備	66,398	64,478
業務設備	5,655	5,580
その他の設備	70,936	71,562
建設仮勘定	3,485	1,606
有形固定資産合計	180,347	178,120
無形固定資産		
のれん	774	760
その他無形固定資産	3,786	3,164
無形固定資産合計	4,561	3,925
投資その他の資産		
投資有価証券	22,785	21,061
長期貸付金	1,800	1,518
繰延税金資産	2,748	2,487
その他投資	5,855	6,285
貸倒引当金	△529	△518
投資その他の資産合計	32,659	30,834
固定資産合計	217,568	212,880
流動資産		
現金及び預金	8,695	9,629
受取手形及び売掛金	11,902	17,271
商品及び製品	1,570	1,571
仕掛品	2,739	2,073
原材料及び貯蔵品	2,403	2,970
繰延税金資産	2,690	2,366
その他流動資産	5,201	4,707
貸倒引当金	△202	△222
流動資産合計	34,999	40,367
資産合計	252,568	253,247

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	87,459	90,629
繰延税金負債	232	39
退職給付引当金	3,265	3,177
ガスホルダー修繕引当金	572	529
保安対策引当金	213	459
負ののれん	262	293
その他固定負債	4,820	3,980
固定負債合計	126,826	129,107
流動負債		
1年以内に期限到来の固定負債	18,557	22,162
支払手形及び買掛金	7,089	7,684
短期借入金	26,518	20,698
未払法人税等	2,502	3,123
役員賞与引当金	36	154
その他流動負債	11,863	13,579
流動負債合計	66,569	67,403
負債合計	193,396	196,511
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,629	20,629
資本剰余金	5,804	5,804
利益剰余金	29,882	28,483
自己株式	△122	△120
株主資本合計	56,194	54,796
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,366	556
繰延ヘッジ損益	△715	△491
評価・換算差額等合計	651	65
少数株主持分	2,325	1,874
純資産合計	59,172	56,736
負債純資産合計	252,568	253,247

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	76,375	69,806
売上原価	44,426	32,101
売上総利益	31,948	37,705
供給販売費及び一般管理費	32,688	33,287
営業利益又は営業損失(△)	△739	4,417
営業外収益		
受取利息	35	19
受取配当金	212	190
負ののれん償却額	—	32
持分法による投資利益	69	56
雑賃貸料	262	274
雑収入	485	639
営業外収益合計	1,065	1,213
営業外費用		
支払利息	1,222	1,123
雑支出	309	382
営業外費用合計	1,531	1,505
経常利益又は経常損失(△)	△1,205	4,125
特別利益		
固定資産売却益	68	—
特別利益合計	68	—
特別損失		
固定資産売却損	25	—
固定資産除却損	—	69
減損損失	820	—
投資有価証券評価損	171	80
たな卸資産評価損	51	—
特別損失合計	1,068	149
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,205	3,976
法人税等	△339	1,324
少数株主利益	200	266
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,066	2,385

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,205	3,976
減価償却費	8,878	8,515
長期前払費用の償却及び除却	715	638
減損損失	820	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△92	△8
受取利息及び受取配当金	△247	△209
支払利息	1,222	1,123
投資有価証券評価損益(△は益)	171	80
有形及び無形固定資産の売却損益(△は益)	△68	5
売上債権の増減額(△は増加)	4,855	5,976
たな卸資産の増減額(△は増加)	△456	△97
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,484	△619
その他	△1,784	△1,215
小計	8,322	18,164
利息及び配当金の受取額	265	230
利息の支払額	△1,211	△1,148
法人税等の支払額	△626	△2,294
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,749	14,952
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△6,595	△7,532
有形及び無形固定資産の売却による収入	116	43
長期前払費用の取得による支出	△649	△617
投資有価証券の取得による支出	△822	△746
投資有価証券の売却による収入	18	5
有価証券の取得による支出	△2,498	△699
有価証券の売却による収入	1,000	699
事業譲受による支出	—	△5,414
その他	642	△41
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,788	△14,304
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△3,931	6,320
長期借入れによる収入	17,100	7,920
長期借入金の返済による支出	△8,000	△14,705
自己株式の純増減額(△は増加)	△5	△1
少数株主からの払込みによる収入	—	320
配当金の支払額	△1,114	△1,117
少数株主への配当金の支払額	△24	△22
その他	—	△226
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,024	△1,513
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,985	△864
現金及び現金同等物の期首残高	5,740	8,666
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	916	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,642	7,802

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当する事項はありません。

(5) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	ガス (百万円)	工事及び 器具 (百万円)	L P G (百万円)	不動産 賃貸 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	50,316	7,066	6,198	1,132	11,660	76,375	—	76,375
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	396	312	2,269	1,883	4,281	9,142	(9,142)	—
計	50,712	7,379	8,468	3,016	15,941	85,518	(9,142)	76,375
営業利益又は 営業損失 (△)	3,901	△30	587	1,039	784	6,282	(7,021)	△739

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	ガス (百万円)	工事及び 器具 (百万円)	L P G (百万円)	不動産 賃貸 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	47,846	5,848	4,799	1,083	10,228	69,806	—	69,806
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	680	285	809	1,947	4,902	8,625	(8,625)	—
計	48,526	6,134	5,608	3,030	15,131	78,432	(8,625)	69,806
営業利益又は 営業損失 (△)	9,321	△39	526	1,039	606	11,453	(7,035)	4,417

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当する事項はありません。

6. その他の情報

(1) 四半期個別経営成績等の概況（平成21年4月1日～平成21年9月30日）

（％表示は対前年同四半期増減率）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
22年3月期第2四半期	51,819 △7.4	3,332 —	3,208 —	1,972 —
21年3月期第2四半期	55,978 —	△1,758 —	△2,158 —	△1,923 —
21年3月期	124,982	5,116	4,363	2,441

	総資産	純資産
	百万円	百万円
22年3月期第2四半期	166,427	51,046
21年3月期第2四半期	173,908	49,121
21年3月期	169,328	49,625

(2) 四半期個別ガス販売実績等

① お客さま戸数

（単位 千戸）

	当四半期末 (21.9.30現在)	前年同四半期末 (20.9.30現在)	増 減	率(%)
お客さま戸数	1,121.8	1,127.9	△6.1	△0.5

② ガス販売量

（単位 千m³）

	当四半期 (21.4～21.9)	前年同四半期 (20.4～20.9)	増 減	率(%)	
家庭用	105,946	109,261	△3,315	△3.0	
業務用	商業用	56,797	58,777	△1,980	△3.4
	工業用	125,147	133,487	△8,340	△6.2
	その他	46,362	48,344	△1,982	△4.1
	業務用計	228,306	240,608	△12,302	△5.1
小計	334,252	349,869	△15,617	△4.5	
卸供給	42,325	44,065	△1,740	△3.9	
総販売量	376,577	393,934	△17,357	△4.4	

【気温実績データ】

（単位 ℃）

	当四半期 (21.4～21.9)	前年同四半期 (20.4～20.9)	増 減
平均気温	23.3	23.3	0.0

※ 気温は、当社6カ所の工場・製造所（福岡、北九州、熊本、長崎、佐世保、島原）で独自に測定し、ガス送出量に応じて加重平均しています。